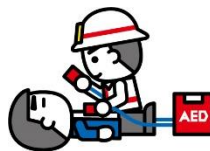


南出張所に高規格救急自動車配備

平成22年10月に網走消防署南出張所に配備されていた高規格救急自動車は、12年が経過し、老朽化が進んでいたことから令和4年11月21日に更新配備されました。同日、南出張所において納車式を執り行いました。



高度救命用資機材は、これまでも積載していた半自動除細動器のほかに、新たに自動心臓マッサージ器を導入しました。



今回の車両の特徴として、新型コロナウイルス感染対策として飛沫感染防止用隔壁、安全運転機能として制動をサポートする衝突被害軽減ブレーキ、ITS CONNECT 搭載、デジタルインナーミラー/パノラミックビューモニター、瞬時に切り替わるフィルム QQScreen (バックドア・左スライドドア)、近隣住民に配慮した赤色 LED「アクティビーコン」は、昼間でもハッキリと発光する LED を採用し3段階に点滅モード搭載し状況に応じて選択できる装置となっています。



今後、ますます高齢化が進み救急業務需要も高まることが予想されることから、更新救急車及び高度救命用資機材を有効活用し、救急医療の現場において一層の活躍が期待されます。